

本通信では子ども食堂における好事例などを紹介し、県内子ども食堂のさらなる推進を目的としています。創刊号では、地域や大学・施設と連携する取組みをされている「さくらCafe」（神戸市中央区）を紹介し、皆様の活動の参考となり、さらなる活動の充実に繋がることを願っています。

みんなと一緒に楽しく食べよう！ 子どもの居場所カフェ～さくらCafe～



Q1 始めたきっかけ

地域の福祉施設として「地域に貢献したい！」と思ったのが始まりです。



山手さくら苑 野尻施設長

Q2 活動内容

様々な環境の子どもたちが集まり、宿題をして夕飯を全員で食べてから、ボランティアさん等の指導による工作等で盛り上がる等、学校や学年の垣根を越えて交わる場所です。



Q3 地元との繋がり

従来から交流のあった、まちづくり協議会に相談。いまでは3協議会と共に活動しています。



山の手ふれあいのまちづくり協議会
松原委員長

神戸諏訪山ふれあいのまちづくり協議会
横山委員長

Q4 大学との繋がり

施設実習に来ていた大学のゼミに相談。約20名の学生が自主的にシフトを組んで毎回5名の学生が参加しています。



神戸親和女子大学のみなさん

Q6 小学校への広報

開設の挨拶に伺いました。いまでは先生も立ち寄ってくれています。

Q5 スタッフ

施設スタッフ、大学生、地元のボランティア、神戸真生塾スタッフなど10名以上の大人が、食事提供に加えて、学びと遊びを支えています。



神戸真生塾のみなさん

気になる事はみんなで相談(^_^)

Q7 今後の展開

コロナ禍では家庭に配達して交流を継続。今は会館を借りていますが、近いうちに施設内に戻り、高齢者との交流を再開したいです。



自家製箸袋！



みんなでいただきます！



さくらCafe詳細HPはこちら↑